

雪割草（1951）

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 日本

色彩 B&W

時間 100分

初公開日 1951/03/24

【解説】

山崎謙太の脚本を田坂具隆が監督し映画化。出演者は四人のみという、異色のホームドラマ。

郊外の住宅街で仲むつまじく暮らす、戸田勝彦と冴子。勝彦が出張から帰ってくる日、玄関のベルが鳴ったので冴子が出てみると、そこには手紙を持った男の子が立っていた。手紙を受け取り読み始める冴子。手紙は、夫がかつて関係を持っていた真島順子という女性からのものだった。順子は勝彦に知らせず子供を産み、ひとりで育ててきた。しかし病弱な身で子供を育てるのは難しいので、勝彦に育ててほしい、と。冴子は驚くが、正彦という男の子を家に招き入れた。夫から「出張が一週間延びる」という電報を受け取った冴子は、正彦と二人での生活を余儀なくされる。

【クレジット】

監督 田坂具隆

製作 須田鐘太

脚本 山崎謙太

撮影 伊佐山三郎

美術 柴田篤二

音楽 斎藤一郎

出演 宇佐美淳

三條美紀

水戸光子

伊庭輝夫